

# やすらぎ短信

令和5年  
3月号

## ひな祭り



三月三日は、ひな祭りです。上巳（じようし）の節句、桃の節句ともいいます。女の子が誕生した家では、ひな人形を飾り、子どもの健やかな成長を祈ってお祝い致します。この雛人形のはじまりは、紙でつくった人形（ひとがた）といわれ、この人形に罪（つみ）、穢（けが）れを移して、川や海に流して不浄をお祓いした流しびなが原点といわれています。この人形が次第に豪華になり、江戸時代後期には、宮中の雅な装束を正確に再現した古今雛（こきんびな）が現れ、大正時代中期には、今のように人形と道具を一式揃えたものになりました。最近では住宅事情で、七段飾りの雛人形を見ることは少なくなりましたが、家族で子どもの成長を祈る大切な行事としてこの伝統

を子や孫へ伝えていきたいものです。



## ひな祭りの食べ物

### ◆ 蛤のお吸い物



蛤は二枚の貝殻がピッタリと合い、他の貝殻とは絶対にならないことから縁結びの意味があります。

### ◆ ひし餅



三色の餅は、赤は魔除け、白は清浄、緑は健康長寿を意味します。

### ◆ 白酒



もとは、桃の花を酒に漬けた「桃白酒」。桃は邪気を祓い、百歳（ももとせ）の意味から長寿を意味します。

## 春分の日・お彼岸

春分の日、昼夜の長さがほぼ等しくなる日で、中日（ちゅうにち）といいます。この日の前後三日間、計七日間を彼岸（ひがん）といい、仏壇やお墓をお参りして、ご先祖様に感謝の祈りを捧げます。ご先祖様から脈々と受け継がれてきた自分の命のありがたさに感謝する大切な日です。この日、宮中でも春季皇霊祭と春季神殿祭が行われ、歴代天皇と天地の神々に神恩感謝を捧げる祭典が行われます。

## 春の社日祭

社日とは、春分の日、秋分の日それぞれ最も近い戊（つちのえ）の日を指します。社日祭では土地の神様・農耕の神様に五穀豊穰と農作業の安全を祈願致します。当社では、三月二十一日に境内にある社日碑二基の前で、帯富・千歳の氏子等が参集し、春の社日祭を斎行致します。今年の豊作と農作業の安全をお祈り致します。

### 節分祭を齋行

去る二月三日に節分祭を齋行致しました。節分とは文字通り季節の分かれ目の日であり、翌日には、立春を迎えます。当社では、四季のはじまりである立春の前日に病氣や怪我などの災難を鬼に見立て祓う豆まき神事を行っております。今年も厄年に該当する氏子崇敬者等がご参列し、無病息災、家内安全祈願を致しました。また、炒った大豆で「福は内」「鬼は外」の掛け声で豆をまき、厄落しを致しました。厄年転じて良い年となりますようお祈り申し上げます。



### 祝米寿健康祈願

浦幌町内で昭和十一年生まれの方で結成された団体、「昭和一一会(子年会)」の十五名の会員が、八十八歳の「米寿」



の厄祓いと健康祈願にお越し下さいました。米寿での団体参拝は、浦幌神社では、はじめてです。この団体は、昭和五十九年四十九歳の厄祓いで結成され、毎年の親睦会や国内外の旅行も行っており、還暦、古稀、喜寿、傘寿の年も団体での参拝を続けてきました。今回、めでたく米寿を迎えられ、皆さん元気に集まれることは、素晴らしいことです。益々のご健勝をお祈り申し上げます。

### 車のお祓いのご案内

お車のご購入に際し、お祓いを受けられ、交通安全の志を高めましょう。新車、中古車を問わずご予約にてお祓いし、交通安全をご祈願致します。大型・特殊車両のお祓いは、ご希望であれば、神主が出張致します。



### 浦幌神社行事予定

- 三月一日 月次祭
- 三月十五日 月次祭
- 三月二十一日 春季社日祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八